

子どもの心の問題のプロフィール（その1）

～受診理由と診断名～

1. 年齢

概ね0歳から18歳

（胎児期～？ ～キャリアオーバー？）

2. 子どもの問題

＜受診理由＞（いずれも年齢不相応な状況であること）

1. 発達の偏り（言葉の遅れ、社会性の遅れ、など）
2. 学習の問題
3. 不登校・引きこもり
4. 行動の問題（多動、衝動、暴力、非行、性非行、など）
5. 食行動の問題（拒食、過食、など）
6. チック症状・汚言、その他の常同行為（吃音、爪噛み、など）
7. 睡眠の問題（夜驚、不眠、など）
8. 排泄の問題（夜尿、遺尿、遺糞、など）
9. 身体疾患ではない身体症状（手が動かない、視力の低下、頻尿、意識障害、など）
10. 場面による緘黙（学校で話さない、など）
11. 強迫行動（手洗いが止まらない、儀式的な行動、など）
12. 分離不安（親から全くなれることが出来ない）
13. 予期不安、回避（ある一定の場所に近づけない、特定の人を怖がる、など）
14. 過剰な不安（自分が過去にしまったことを不安がる、など）
15. 不安定な対人関係、他人への過剰な甘え
16. 解離症状（自分が自分でない感じ、記憶がない、別の人格が出てくる、など）
17. うつ状態（悲しくて涙が止まらない、など）
18. 躁状態（ハイな状態になってコントロールできない、など）
19. 幼児および学童の性化行動
20. 自分の性が異なると信じる、他の性の格好をする、など
21. 自傷行為
22. 自殺企図
23. 奇妙な言動、幻覚・妄想
24. 虐待を受けた体験
25. その他の恐怖体験（犯罪や事故の被害・目撃、災害、その他）
26. その他

＜診断名＞（ICD-10に準拠）

F90-98 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害

F90 多動性障害

F91・92 行為障害（家庭内暴力・非行など）

F93 小児期に特異的に発症する情緒障害（分離不安障害、恐怖症性不安障害、社会性不安障害、同胞葛藤性障害、など）

F94 小児期および青年期に特異的に発症する社会的機能の障害（選択性緘黙、愛着障害、など）

F95 チック障害

F98 その他（非器質性遺尿症・遺糞症、異食症、常同性運動障害、吃音、など）

F8 心理的発達障害

F80-83 特異的発達障害（発達の一部のみが遅れる障害…含 学習障害）

F84 広汎性発達障害（自閉性障害、アスペルガー障害、など）

F7 精神遅滞

F6 成人の人格および行動の障害

F60-62 人格障害

F63 習慣及び衝動の障害（抜毛症、など）

F64 性同一性障害

F65 性嗜好障害

F66 他の人格及び行動の障害（虚偽性障害、など）

F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群

F50 摂食障害（神経性無食欲症、大食症、など）

F51 非器質性睡眠障害（不眠症、過眠症、睡眠時遊行症、夜驚症、悪夢、など）

F55 依存を生じない物質の乱用

F4 神経症性障害、ストレス関連障害、および身体表現性障害

F40 恐怖性不安障害（広場恐怖、社会恐怖、など）

F41 他の不安障害（パニック障害、など）

F42 強迫性障害

F43 重度のストレス反応および適応障害（急性ストレス反応、外傷後ストレス障害、適応障害、など）

F44 解離性（転換性）障害（解離性障害、転換性障害、多重人格障害、など）

F45 身体表現性障害（身体化障害、心気障害、など）

F3 気分（感情）障害

F30 躁病エピソード

F31 双極性感情障害（躁鬱病）

F32 うつ病エピソード

F33 反復性うつ病性障害

F34 持続性気分（感情）障害

F2 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害

F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害

F0 症状性を含む器質性精神障害（病気に伴う精神障害）

3. 治療・ガイダンスの対象

- 子ども自身への治療
- 親へのガイダンス（時には親への治療）
- 家族

4. 必要な連携の対象

- 院内連携（チーム医療、コンサルテーション/リエゾン、コメディカルとの連携）
- 院外連携（学校・幼稚園・保育園・保健所・児童相談所・児童福祉施設・警察・司法・市町村保健センター・市町村福祉などとの連携、虐待対応の協議会、その他）

イメージ図

